

中高6年間で身につけるべき学力とは

中1のスタートが 大学入試やその後の成功を左右する

4月から中学生として新しい一歩を踏み出す皆さんは、これから始まる中学・高校での学校生活に大きな期待をふくらませていることでしょう。中学からの学びは中学受験の勉強に比べ、より深くより高度なものになっていきますし、それはやがて大学受験や大学での学び、大学卒業後に活躍する力にもつながっていきます。そうした力を身につけるには中高でどのような勉強の仕方をすればいいのか、駿台中学部・高校部の教務部に取材しました。

難関大学が求める力は本質的には変わらない

グローバル化やAIに代表されるICT化の流れを受け、社会で求められる力が変化してきているといわれる。それを受けて、大学入試も共通テストへの移行や英語4技能重視、総合型選抜などの多面的な評価軸の導入など、保護者世代の頃とは大きく様変わりしている。大学やその先の社会で求められる「学力」も変わってきているのだろうか。

駿台中学部・高校部の見解は、以下の通りだ。
「一般的な学力という意味では、面的に変化している部分もあります。東京都の高校入試でのスピーキングテスト導入や、英検の大学入試利用など、英語教育は明らかに変わってきた部分はあります。また、共通テストもセンター試験に比べ、より判断力や思考力を求められるような出題形式になりました。しかし、難関大学が最終的に入学者の選別に用い

る二次試験レベルであれば、ほとんど変化は感じられません。しっかりと自分の頭で考えているかを測定するという学力の本質的な部分は変わっていないと思います」(教務部)
では中高一貫校の生徒が目標とするような難関大学をめざすには、どのような勉強が効果的なのか。

「一見すると、どこから手をつけたらいいのかわからない、いわゆる難問とされる問題も、実はいくつかの基本的な考え方を組み合わせただけで過ぎず、それさえ発見できれば、あとは基礎・基本の考え方をい用いることで解くことができます。ですから基礎・基本の徹底というセオリーが変わることはありません」(教務部)
基礎・基本を徹底させるのに、これまで塾の授業を受けるのか、問題集を何周もこなすという手段しかなかった。しかし、AI教材の登場で、学習の仕方が変わりつつある。
たとえば駿台では数学の授業などで「atama+」というAI教材を活用している。自分の弱点は自分で

はなかなか見つけれないものだが、AI教材を使えばどこに課題があるのか瞬時に判断して示してくれる。そのため、AI教材は基礎・基本の「漏れ・抜け」をカバーするのに最適なツールとなりつつある。

学習効果の高い問題が満載されたテキスト

入試問題は、高校までの学習範囲から出題されるため、習得すべき基礎・基本には限りがある。ただし、それらすべてを身につけたとしても、それだけでは難関大学の突破は難しい。よく練られた問題集は、どの基本事項を応用したものを見分けることが容易ではないからだ。そこに塾を活用するメリットがある。

「駿台の数学の授業では、最初の20分はAI教材を使って、前回までに学んだ内容に漏れや抜けがないかをチェックします。その上で、講義を通して新しい概念や考え方を学び、それらが実際の問題でどのような形で提示されているのかを、解説してい

きます。つまり授業を通して、難問を基礎・基本レベルまで解きほぐしていく方法を身につけていくわけです」(教務部)

この授業スタイルは、鍵のかかった箱の比喩として理解できよう。鍵を基礎・基本事項の理解だとすれば、難問は何種類もの鍵がかかった箱といえる。鍵をたくさん持っても、一つひとつの鍵穴に最適な鍵を見つけて、順番に解錠していくには、ある程度の訓練が必要だ。駿台の授業は、そのトレーニングの場というわけだ。

「しかも駿台のテキストには、長年積み上げてきた、学習効果の高い問題が満載です。どこに鍵穴があり、どの鍵を使えば開くのかを学ぶのに最適な良問です。中学段階から、こうした問題を通して解錠するトレーニングを重ねていくことで、最終的に難関大学の問題を解く力につながります」(教務部)

原理原則の理解が揺るぎない学力になる

受験では塾や地域の中でトップグループにいた生徒ばかりが集まってくるため、受験勉強からの解放感でんびりしている、最初の中間テストで思わぬ順位がつかってしまうからだ。他校も含めた同じ学年の生徒全体でみれば十分に高いレベルにあって、中学生だと学校の成績だけで、「もうこの科目はだめだ」と思い込んでしまう可能性もある。
「だからこそ、中1のスタートがとても重要なことです。数学ではそれまで不要だった証明が必要になり、英語も文法の学習が入ってきます。最初の段階ではそれほど苦労することはありませんが、スタートでつまずくとわからないところが積み重なってしまうのです」(教務部)

駿台の卒業生の多くが社会の第一線で活躍しているが、中高時代の彼らに共通しているのは、忍耐力の強さだということ。勉強の成果はすぐには表れない。だから、じつくりと取り組む努力が必要で、その先に志望校合格が見えてくるのだ。最後に、読者にエールをいただいた。
「せっかく難関大学をめざし、日本や世界で活躍することを夢見て、中学受験を乗り越えてきたのですから、中学に合格したからといって、勉強の習慣を崩してしまわないでほしい。大学入試やその後の成功に大きなウエイトを占めるのだということをしっかりと認識した上で、入学前から気を引き締めて勉強を続けてほしいと思います」(教務部)



(左上) 受験に精通したプロ講師
駿台中学部・高校部の授業は、教科専任のプロ講師が担当します。大学受験に精通した経験豊富な講師陣が、原理・原則からじっくり指導します。



(左下) AIサービスの充実
AI教材「atama+」を活用しています。最先端AI「アタマ先生」が生徒一人ひとりの苦手・弱点を分析し、最適な問題演習を実施できます。



(右上) 良質なテキスト
駿台のテキストは中高6年一貫のカリキュラムが完全に体系化されています。テキストを完全理解することで着実に実力アップを図ります。

(右下) 中学生活に寄り添う進路アドバイザー
時期に応じた最適な学習アドバイスを行います。テストの成績はもちろん、授業中の様子も講師や保護者の方とこまめに情報共有し、生徒・保護者の皆様を支えています。

切磋琢磨し合える環境に身を置くこと

学力を伸ばすには、良質なテキストと講師に加えて、勉強を前に進めやすい環境も重要だ。たとえば、基礎・基本を確実にするための「atama+」はタブレットを使うが、一人では飽きてしまう可能性が高い。まわりと一緒に取り組む仲間がいるからこそやり続けることができるわけで、切磋琢磨し合える仲間がいるクラス形式には大きな意味がある。

「保護者や学校の先生とは違う、別の大人との関わりがあることも重要な要素だと考えています。自分の成績や、勉強の進め方について、保護者や学校の先生ときちんと話し合う時間というのは、案外少ないのでは

駿台
SUNDAI

中学生から駿台
東大・京大・医学部へ
中高一貫校に通う中学生対象

早期
入学特典
あり

2024年度
大学受験コース
4/10日開講!

新中学1年生限定 早期入学特典

2月29日までのご入学手続きで
4月入学 ① 入学金22,000円(税込) 全額免除(0円)
② 春期講習 2講座無料*

*教材費として、1講座につき2,200円(税込)がかかります。

新中学1年生・保護者様対象

入学説明会 2/4日～
各校舎で土日祝を中心に開催中! お気軽にお問い合わせください。

開成・日比谷・早慶・国立大附属へ
高校受験をするキミは……

2024年度 **高校受験コース**
3/4日開講! 入学説明会開催中!

各校舎で土日祝を中心に開催中! お気軽にお問い合わせください。

駿台中学部 ☎0120-59-2612

●お茶の水校
●吉祥寺校

●池袋校
●大泉学園校

●渋谷校
●横浜校

●西葛西校
●津田沼校

●豊洲校
●千葉校

●自由が丘校

